

基本構想

◇南部地区小中一貫教育学校3つのコンセプト

諏訪市の教育大綱の基本理念「誰もが輝き 誰もが幸せ 新たな時代を切り拓き つながり続ける学びの和」のもと、四賀地区、中洲地区とも、豊かな自然、歴史、文化などを背景に、教職員、保護者、地域の方々が子どもを中心に協働し、地域に根差した教育を進めてきています。また、一人一人の子どもの個性を大切に授業改善、学びの場や支援体制の工夫など、これまでの学校を見つめ直す実践も重ねています。このような四賀小学校、中洲小学校、諏訪南中学校が培ってきた特色ある教育活動を生かすとともに、新しい時代の教育を創造していく学校環境の整備を進めます。

そして、施設一体型の小中一貫教育学校であることを最大限生かし、義務教育9年間を連続した教育課程としてとらえ、小学校6年、中学校3年という区分は維持しつつ、学習や生活がゆるやかに連続する9年間のカリキュラムを設定し、小中学生が混ざり合いながら学ぶ機会を創出するなど、学校教育の質を高めます。

そこで、新しい学校の教育コンセプトを次の3点に整理しました。

誰もが学びやすく、やりたいことを実現できる学校 AC

- ◇自分の意見や対話が大切にされ、自分たちが考えたことを実現する機会の充実^{⑬⑭⑮}
- ◇一人一人の多様性を前提に、多様な教育ニーズがある児童生徒に応じた学びの充実により、学力・体力や自己肯定感、非認知能力等の向上^{①②③⑤}
- ◇インクルーシブ教育の推進^⑦
- ◇ICTやAI技術の活用^⑳

多様性を認め合い、協働して学びあえる学校 D

- ◇自分を尊重し、友達を尊重し、教職員、家族など周りの人と尊重し合える関係の構築^{③⑬⑱}
- ◇世界に目を向け、グローバルな視野をはぐくむ学びの充実^④
- ◇多様な専門人材の連携(スクール・カウンセラー、スクール・ソーシャル・ワーカー、スクール・ロイヤー、看護師など)^⑰
- ◇教室以外の学びの場、学校外の学びの場との緩やかにつながる環境の工夫^⑥

地域とつながり、地域に根差した学びを大切にする学校 B

- ◇ふるさと諏訪への愛着がもてる学び^⑧
- ◇地域の方とともに歴史文化を継承・発展する学び^⑨
- ◇コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の充実^⑪
- ◇児童生徒や教職員と地域の方との対話の機会の充実、コーディネートする人材の活用^{⑩⑫}

◇施設整備の方向性

新しい施設一体型の小中一貫教育学校の3つの教育コンセプトを推進する学校整備や児童生徒の多様な学びや諸活動を可能にする教育環境の整備を行うとともに地域の方々の災害時の避難拠点など地域の重要な施設としての観点なども考慮して、次のとおり整備の方向性を定めます。

(1)学習環境整備 E

多様な学習活動が展開できる教室空間

- ・1人1台端末や電子黒板に対応したゆとりある教室の整備、個別学習・少人数学習に対応できる空間等の整備を目指します。^⑳

高機能、多機能で変化に対応できる空間

- ・可動間仕切り、可動設備の設置を検討します。^㉑

異年齢が集える空間

- ・日常的に小中学生が関わり合えるミックスゾーン、異なる学年が混ざり合えるスペースの整備等を目指します。^㉒

地域の方と交流できる空間

- ・地域の方と連携、協働する空間の整備や共有化を検討します。^㉓

自然とふれあいができる環境

- ・自然教育や畑、ビオトープ等の環境を整備します。^㉔

教室、特別教室等

- ・多様な学習活動が展開できる教室空間、支援を必要とする児童生徒が過ごす空間、読書・学習・情報のセンターとなる図書館の充実を目指します。^㉕
- ・児童生徒の動線に配慮した構造を検討します。^㉖
- ・小中9年間を見通した小中一貫教育を支える施設環境の整備、小中各専用スペース及び共有スペースの確保を検討します。^㉗

先生が働きやすい学校としての機能向上

- ・教職員多目的スペース、教職員コミュニケーションスペース、教職員リフレッシュ空間、教職員間の連絡ツール等の整備を検討します。^㉘

バリアフリー・ユニバーサルデザインの導入

- ・エレベーター、スロープ、トイレ、医療的ケアが必要な児童生徒への設備など、すべての児童生徒に配慮した整備を進めます。^㉙

快適な室内環境

- ・内装等の木質化、空調、洋式トイレ等過ごしやすい空間の整備を進めます。^㉚

環境へ配慮した施設

- ・省エネルギー化、再生可能エネルギー、断熱性能の向上、ZEBの導入を検討します。^㉛

多様化する未来を見据えた学校づくり

- ・10年先を意識し、柔軟な運用が可能な施設整備を目指します。③⑥

(2)通学 F

- ・通学路、周辺道路の安全対策、安全整備を進めます。③⑩③①
- ・スクールゾーン、歩道橋の整備を検討します。③⑩
- ・通学支援(スクールバス)の導入を検討します。③⑩

(3)地域に開かれた施設

- ・災害時の地域の避難拠点として防災機能を有した施設整備を目指します。③②
- ・地域の方々が生涯学習の場などでも活用できる施設整備を目指します。

(4)学校敷地 G

- ・諏訪南中学校の敷地を活用した再編整備を目指します。③③
- ・限られた敷地を有効活用するとともに可能な限り周辺敷地の確保を目指します。③⑤
- ・児童・生徒数の推計に基づく面積を確保します。③④

(5)跡地③⑦

- ・四賀小学校、中洲小学校跡地の有効活用を検討します。③⑦